

さぽへし

2015 JANUARY

NO. 46



平成二十七年を迎えて

理事長 池ヶ谷 聡



日頃より、社会福祉法人焼津福祉会の事業運営に對しまして、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成二十七年の年頭にあたり、

世情混迷の中ではありますが、職員とともに、新たな気持ちで事業運営に取り組む決意であることをお伝えいたします。

さて、平成十八年に施行された障害者自立支援法が、名称変更などもあり、円滑な事業運営に結びつかない面もあるとの声も聞こえています。加えて社会福祉法人にとっては、大変厳しい状況になる最近の問題として、社会福祉法人に対する課税論議があります。これが決まると、当法人にとっても大きな影響がでるものと予想されます。

そのような状況下ではありますが、障害者が自立した社会生活を営むことができるようになること、また、様々な人々と、地域社会の中で、共生していけるようになることは、法人のみならず、家族や保護者にとっても変わらぬ願いであります。

当焼津福祉会では、そのような社会の実現に向けて、利用者の皆様が、安心して生活が送れるように、安心して通所ができるように、また、困った時にはいつでも相談に乗れるように、常に体制を整え、障害者支援に全力を注いでおります。そして、地域で愛される福祉施設を目指し日々努力する中で、利用者の視点に立ったサービスの提供と、個人の尊厳を重視した処遇により、福祉の増進に寄与していきたいと考えております。その上で、円滑な事業運営による法人経営の更なる健全化を目指してまいりる所存であります。

今後とも、皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

ずぴか

『いきいきウォーク』

11月16日に社会保険協会主催のいきいきウォークに参加しました。島田駅をスタートし、通過地点の寺院、ばらの丘公園を巡りながら約9.5kmを歩きました。みなさん、弱音を吐かずに、ゴールすることができました。これからも、健康のためにこのようなイベントには積極的に参加をしていきたいと思っています。



ぽぷら

『北泊先生によるリハビリ』

月に一度、「(リ)ハビリテーションきたどり塾」の理学療法士 北泊治美先生が来園してくれ、子ども達一人ひとりの活動の様子をとても丁寧に見て下さり、姿勢や運動面についてのアドバイスをわかりやすくして下さいます。毎回内容を工夫しながら子どものやる気を引き出して、回数を積み重ねていくうちに子ども達一人ひとりの成長が見られるようになりました。



ものやる気を引き出して、回数を積み重ねていくうちに子ども達一人ひとりの成長が見られるようになりました。

今日も元気！ 明日も元気！

慈恵園

『健康寿命』



厚生労働省では健康上の問題で、日常生活が制限されることなく生活できる期間を「健康寿命」といっています。

県別順位では静岡県男性は2位(71.68歳)、女性は1位(75.32歳)だそうです。慈恵園の健康寿命群として平均年齢は男性77.12歳、女性80.44歳でした。

男女ともはるかに上回っていました。集団生活なので、誰かしらに声をかけられるし、ほどほどに気も頭も身体も使うのです。

もちろん栄養管理、健康管理もあります。

「慈恵園での生活こそが健康寿命の秘訣」と言えるかもしれません。

※(H26.12/1 現在)



ゆりかもめ

『リズム体操』

毎月1回焼津市体育館で講師の落合先生の指導のもとリズム体操を行なっています。

タオルを使っの柔軟体操や、コーンやフープを使っの運動など、利用者さんが楽しく参加できるように毎回工夫した内容で指導してくれます。



生活介護 虹の家

平成21年4月
障害福祉サービス生活介護事業
所に移行

知的障害児者施設
「ウェルシップみおし」内
新施設へ移転



平成16年1月

知的障害者通所更生施設
「虹の家」開設



◎歴史と概要
昭和59年4月

30周年記念の集い

利用者さんからは「これからも虹の家で仕事をがんばります」と挨拶がありました。今までの30年間の積み重ねを受け止めて、関わってくださった皆様に感謝し、これからも利用者さんが安心して、落ち着いた生活が送れるよう努めていきたいと思っています。



虹の家開所30周年を記念し、利用者さん・職員・保護者・来賓の方々が集い、お祝いの会を開きました。30年間虹の家を利用している方や近年利用し始めた方など様々ですが、会をおして皆のつながり、絆を確認することが出来ました。



◎参加した保護者の方から

- ・とても盛んに楽しく盛り上がってよかったと思います。たくさんの方々の支えがあって30年間も続いたと思います。これからもますます虹の家が発展することを祈っています。
- ・虹の家のまとまりの良さ、やさしさがいろいろなところに表れていた会でした。
- ・利用者達みな始めから終わりまでのびのび良い表情で楽しんでいて、見ていて気持ちよかったです。

一生懸命

ゆたか



11月11日に陶芸教室が行なわれました。粘土を丸めたり、動物やお花など好みの絵柄の型抜きをしたものを土台に貼り付け、デザインにこだわった個性的で可愛らしい作品を作ることができました。いろいろな工程を講師の方や職員と一緒に取り組み、楽しい時間を過ごす事が出来ました。みなさん出来上がりを心待ちにしています。



くれよん・色えんぴつ



職員が作ったミサンガを子ども達に見せたところ、「作ってみたい」という声があがりました。初めは、指をうまく動かせず嫌になってしまいうこともありました。何度も練習していくうちに、少しずつ自分でできるようになってきました。色選びから楽しみ、出来上がったミサンガを「おかあさんにあげる。」とお迎え時にプレゼントしました。放課後の楽しみがまたひとつ増えました。

花・はな



花・はなでは、2月の焼津福祉会作品展に向けて、作品作りや絵手紙など、講師からご指導を受けて仕上げた作品や、デザインも材料もオリジナルの作品など、一人ひとりの個性が作品に現れます。一人でも多くの皆様に見ていただき、喜んでもらえることが何よりの楽しみです。



ワークすばる

すいせんからの紹介を受けて、(株)ネクストワン様より、にんじんの皮むき作業を請けています。毎日120kgのにんじんの皮むきを5名の利用者と職員で行っています。皮むき器の扱いに苦戦しましたが、毎日作業を続けることで、今ではペース良くきれいに作業を行えるようになりました。毎回作業メンバーを固定して行うことで作業効率もアップしました。



すいせん



NEXCO 中日本株式会社様より、東名高速高架下の草とり作業をワークすばるとすいせんが請け負いました。何度も現地に通い、たくさん生えていた雑草を取り除きました。暑い時期の作業でしたが、意欲的に取り組むことが出来ました。

また、焼津市内就労系事業所が集まって組織する焼津自立支援協議会就労部会では、請け負った作業を各事業所利用者で、一緒に取り組む機会を設けています。昨年11月にはすいせんや他3事業所の利用者のみなさんと自主製品を袋に詰める作業を行いました。いつもと違う場所、いつもとは違う仲間と作業をすることで、新鮮な気持ちで一生懸命作業に取り組むことが出来ました。

大井川寮



10月10日にシーガルドームで行われた焼津福祉会運動会に参加しました。大井川寮では、早くから日々の活動時間を利用し、玉入れや順送球など参加するそれぞれの競技の練習を行いました。利用者の皆さんは本番が近づくにつれ練習に力が入り、声をかけ合い団結力も強まりました。当日は、一生懸命練習した成果を十分に発揮することが出来ました。



放課後等デイサービス ネットワークフォーラム

10月16日に、「放課後等デイサービス ネットワークフォーラム」が開催され、志太榛原地区内の放課後等デイサービスを運営する事業所・福祉・行政関係者、及び保護者も多数参加しました。

基調講演では、「bon'ワーク西宮」管理者の譲田和芳氏から「放課後等デイサービスとこどもの発達」と題して、現在の放課後等デイサービスに求められている役割についての話がありました。学齢期支援にとどまらず、成人期に向け、各機関と連携を取り、つなげていく支援の必要性をあらためて感じました。

地域の中で、色えんぴつ・くれよんが、障がいのあるに関わらず、子ども達が、楽しく過ごしたり、安心して居場所となるような事業所をめざしていきたいと思いました。



焼津市講演会

(法人研修会)の報告



11月1日に、主催焼津市、後援焼津福祉会「思春期の心と性」家庭、学校そして地域でできることと題して講演会が行われました。基調講演として、ハートブレイク思春期研究所所長黒瀬清隆氏をお招きし、性教育の現状、そして性を特別視せず、当たり前のこととして生活全体を見通した関わりが私たち大人にも必要であることをお話ししていただきました。出席した方からのアンケートでは、大変好評でした。

後半は、前田産婦人科医院院長の前田津紀夫氏と黒瀬氏の対談が行われました。市内の中学校を性教育で回られている前田氏と黒瀬氏の立場の違いがある中、目指すところは、思春期の子どもが当たり前に感じることを大切に地域づくりに思いました。

今後、私たちも当事者として、今回の講演会を次につなげていけるように地域との連携を図っていく必要性を感じました。



次回研修会のお知らせ

日 時：平成27年2月1日(日) 14:00～16:00
場 所：焼津市総合福祉会館(ウェルシップ焼津)3階多目的ホール
講 演：「報道の立場から見える虐待」～事例を通して～
講師 毎日新聞論説委員 野沢和弘氏
参加費：無料(どなたでも参加できます 先着200名)
問い合わせ：焼津市健康増進課 母子保健担当 (054) 627-4111
生活支援センターわおん (054) 624-3077



長崎県で開催された、全国障害者スポーツ大会のボウリング競技成年女子の部に静岡県代表として虹の家の藤田志保さんが出場しました。出発前日には壮行会を行い「がんばって」と皆でエールを送りました。試合は不安と緊張でいっぱいだったようですが、楽しく競技に臨むことが出来、結果は4位入賞でした。

虹の家で報告会を開き、「これからもボウリングを続け上手になり、また代表に選ばれたい」と本人からの言葉がありました。虹の家からは『入賞おめでとう』のメダルを贈りました。



ご協力をお願いします

新タオル

焼津福祉会の各事業所では、自主製品として雑巾を製作しています。利用者さんが一生懸命製作した自主製品を、一度手にして下さい。雑巾縫製の新タオルが不足しています。ご自宅に眠っているタオルはありませんか？もしありましたらご協力をお願いいたします。



使いおえたティッシュケース

虹の家とゆたかでは、ビニール剥がし作業を行っています。ティッシュケースを平らに開き、内側についたビニールを剥がす細かな作業です。使いおえたティッシュケースがありましたら、お近くの法人事業所までお願いいたします。



問い合わせは ☎054-626-2839 焼津福祉会 事務局本部まで

寄贈



「全日本自動車産業労働組合総連合会」様より、ワークすばるにミシンを3台いただきました。ミシンは縫製作業で雑巾、自主製品製作のために活用させていただきます。ありがとうございました。

みんなの心

《寄附金・寄附物品(協力者)》
明るい社会づくり運動焼津地区協議会
池谷美智子
板橋精機機 多田哲也
いつみや
大井川吹奏楽団 団長 池谷久治
大富スポーツ少年団
岡村 勢
小柳津昌子
小柳津睦子
影田町女子中老会
川口呉服店
川守 薫
小坂橋道代
小山祥弘
新海量店
全日本自動車産業労働組合総連合会
高松京子
塚崎喜美雄
藤和乾物
長岡内科
中野由美子
原崎敦子
原田正代
ファミリールー 静岡
(株)富士屋 田尻北店
増田賢行
増田みつる
松住屋
マルサ洋服店
見崎貢
明治安田生命 焼津営業所
望月和美 一三三会
焼津黒潮会
焼津市社会福祉協議会
焼津市仏教会
焼津市ボランティア連絡協議会
焼津市民生児童委員協議会
高齡者福祉部会
焼津民主商工会
焼津モラロジ

やきつ家
山田しず江
米村新作
ワックピア志太
渡邊陸
《ボランティア》
青島将貴
青木恵子
明るい社会づくり運動焼津地区協議会
天野良雄
有海智也
有ヶ谷晴代
有田啓子
池谷健志
石田勝英
石野邦代
伊東夏子
岩田頼彦
海老岡保夫
大橋道代
岡村布由樹
落合圭子
片山さち枝
加藤鋭郎
狩野裕子
亀山実希
嘉茂章世
久我 翔
けい美容室
小坂橋道代
孝道山マイトリ委員会
小宮万利菜
佐藤泰子
静岡医療福祉専門学校
静岡県眼鏡商業組合志太支部
シンパ時計店
鈴木恵子
鈴木さか江
鈴木幸江
竹本智美
多々良由里子
田中 操
長福寺 佐藤秀裕
千代学園みやじま幼稚園女児
戸塚英子
中野富士恵

中村智子
中村祥子
ニイコン 歌謡会
萩原初江
長谷川裕美
原川かず江
原田正代
ひまわりの会
ビューティー・ハラキ
美容室ピッターパット焼津店
星 那彩
ボランティア21
前田久美子
増田温子
増田菜美
松永洋子
松田好美
水野安代
宮崎美和子
三輪淑乃
向山斗稀
村松あずさ
村松江一
望月早矢香
望月美代子
望月夢加
森野悠朴
焼津大井川赤十字奉仕団
焼津漁業協同組合・しおさい
焼津黒潮会
焼津市大村公民館 民謡教室
焼津市ボランティア連絡協議会
焼津美穂
焼津モラロジ
萩崎阿希子
山田知都
山本美由紀
横山満子
渡辺幾江
藁科あゆみ
藁科喜久代
藁科沙紀
(平成26年6月から
平成26年11月まで
(以上敬称省略))

焼津福祉会を

支える会だより

支える会に

ご理解とご協力を

「焼津福祉会を支える会」

会長 五条 光男

平成二十七年の新春にあたり、本年が皆様にとって良き年でありますことをお願いいたします。東日本大震災から三年九ヶ月が過ぎましたが被災地の復興は計画どおり進んでおりません。被害を受けられた皆様や、いまだ避難地で暮らしている皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、最近の社会情勢を見ますと、まだまだ景気の先行きが不透明な状況であり、私達の生活にも多大な影響を及ぼしております。このようなことから、一日も早く景気が回復し、社会が明るくなることを祈念するものであります。

私達、「焼津福祉会を支える

会」は、焼津福祉会の事業に対し、後援活動を行っている会であります。

障がい者が自立して、共生できる地域社会の実現を目指すこと、また、焼津福祉会の更なる発展のため、ご支援をいただきたく、支える会へのご入会をお願い申し上げます。

平成二十七年一月



虐待防止委員会設置

平成12年に児童虐待防止法（16年、20年に改正）、18年に高齢者虐待防止法、24年に障害者虐待防止法が施行され、それぞれ対象になる人たちの権利や尊厳を守る法律が整備されましたが、現実には虐待が大きな社会問題となっております。

当法人では、昨年の12月1日に、運営する事業所ごとに虐待防止委員会を設置いたしました。委員会は、利用者の自立と社会参加のための支援を妨げることのないよう虐待の防止に努めることを目的とし、職員の虐待防止意識の向上や知識の周知、虐待のない環境づくりを目指すことを責務としています。また、常に現状を把握し、虐待につながるような事案について検討・対応することができるよう、研修も定期的開催していきます。

虐待は起こってはならないものです。利用者の皆様に安心してサービスをご利用いただけるよう法人全体で虐待防止に取り組んでまいります。

第22回焼津福祉会作品展のお知らせ

施設利用者の作品をより多くの皆様に見ていただきたいと思います。是非、ご来場ください。

日時 平成27年2月19日から22日
場所 ふれあいギャラリー
住所 焼津市本町5-1-18
時間 午前9時から午後5時まで
（最終日は午後3時まで）
内容 絵画・書・手工芸 など
連絡先 虹の家（TEL：629-5712）



◆編集後記◆

新年あけましておめでとうございます。昨年は御嶽山の噴火、台風、地震と自然災害が続いた一年でした。自然の力に人間はかないませんが、日頃の備えが大切だと感じます。

今回は各施設の利用者さん達の日々、がんばっている姿を掲載させていただきました。

今年も皆様にとって、明るく充実した一年となりますよう、お祈り申し上げます。

